

福岡リウマチ井戸端の会

- 特別編 - メディカルスタッフセミナー



開催日時：2019年8月23日(金)
IN アクア博多

【参加者】

看護部：中野/井上/福高
リハビリ部：鶴田/岡田/城ヶ崎

リウマチ井戸端”サークル”

【関節リウマチ治療学講座】

「リウマチ治療におけるメディカルスタッフの関わり」

医療法人相生会 ピースクリニック 洲崎 みどり先生

今回は、病院やクリニックで働くコメディカル※を対象に、お互いの連携を深めることを目的とした講演が行われました。そのため、セミナーの名前も「会」から「サークル」となり、特別編として実施されました。

【コメディカル】：医師の指示の下に業務を行う医療従事者を指す。



「わからないことをみんなで打ち明け合おう」

セミナーのメインテーマは「チーム医療の理解」でした。

今回の講演では、看護師の立場から考える医師・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士のチーム医療の関わり方や、それぞれの職種についての制度に関する話を伺うことができました。

【チーム医療に必要な要素】

- ① 検査への取り組み：各職種で必要な検査の内容と数値の理解を共有する。
- ② 説明と同意と意思決定：「～したつもり」にならないような説明を行う。
- ③ チーム医療の実現：各職種の連携を通してお互いに学ぶ姿勢が大切。
- ④ モチベーションの維持：「リウマチ専門」獲得のための環境的なサポート体制。

※チーム医療の継続には個人の意志だけではなく所属する施設の協力も必要。



講演の最後には「薬を飲むこと」を題材とした話がありました。医師の診察時の対応で参考になったことや、患者さんへの声掛け一つで相手への伝わり方や捉え方が変わることなど、洲崎先生の経験を踏まえた具体位的な話を教えていただくことが出来ました。また、アドヒアランスやインフォームドコンセントについても「～したつもり」にならず、患者さんと向き合い、本当の意味での「理解」が重要であることを、今回のサークルで再度認識させてもらうことが出来ました。